第二十話

台風と闘った仙人と武蔵

平成七年？？台風が東海地方に接近した。私の愛用の千度タバコの灰皿のラジオから聴えてくる。その回数も多くなってきている。名古屋へ接近するのが夜のようだ。

この頃、私のところでは、初代の「お通」メス猫と修行をしていた。この猫をもってきたのが、小学生の男の子だった。

仙人さん、僕たちが学校から帰える途中で、この子コが鳴いていたので連れてきたけど、いらないですか。

何んだ！！この猫は！！
ヘビのようじゃないか！と私は叫んだ。
顔から胴体までが、それのように見えたのである。
やせていて胴体は長くて、細く、目は鋭くさえている。
そうか、そうか、よくわかった
私が飼うことにしよう。
ネコちゃん良かったな……。

私さんが飼ってあげると
いってくれたよ。
私さん、僕の家に飼が
あったら！もってきます。
私さん、ぼちぼち帰ります。
このこどもたちがつくって
くれた、ネコと私の出会い
のネコちゃんの名を、
お通と呼ぶ事にした。

お通りください、と言う意味で、言うしるしをつけたのか、新者の、みなさんに、説明をしなければいけません。でしたなと。

私は、あの、宮本武蔵の修業のあり方に、そっこんでしたと思い、それから、宮本武蔵の修行を、私たちの流儀で行って、おる家の理由でネコちゃんの名前をつけてあるのでございます。

地上イメートル高さの木の上に、四つ三枚分位の修の部屋を作り、お通と住んでいるのでございます。

そこに、大型の台風が、戦いを、しかけて来るのだ。負けて、たまるものか、と備えの準備をする。タゴはん

は、つもりも早めに食べて、本の上に作った新聞に、竹ハシゴを登って、ロープを、選んで、しっかり、固定するのに、おき時に使用する。

あ、とにかく、嵐がくりかえすだけで、本が接近するのだから、命掛けの台風との戦かいに、覚悟をしなければならん。

―

さあ、台風さんも、東海地方に上陸し、私人のまわりを戦かいを決意をしたようだ……ッッッ！

二名私も一天が与えて下さった、命掛けの実戦体験に背を、みせて逃げて、いたら、一天は二度と、このような、体験をさせた、大自然の力の教科書と、いえる機会を与えて

いただけなる
私たち、さらさら逃げる気は
なし。まだ、子ども達に
台風と、私たちとお通の戦に
いの、大事な体験談と
なる。小道具をみのがす訳
には、いかない。
そして、夜になり、大自然
が、ひさかこす、台風との
闘いの、風の響きのコンダが
段々と迫って来ている。
そして、風のうなり音が、
強くなってきている。
いよいよ、枝葉の揺れる音が
聴えてきた。実に迫力の大
の雨のパチ、そして、もの凄
い風の風の激しさは、私と
お通の、どこを狙っているの
だ。雨よりけ、実にはげしく
降かってくる。ビニールシートを

吹き飛ばすのか、それとも、
オトトルトの部屋の天井
となる三本の木を、強風
の踏ん張り倒そうとしている
のか、それとも、私とお婆様
の命を、どうしようとしている
のか。
いずれにしろ、一度目の
強風が、どの位の破壊力
かを、見極めようと、
ふと、きたに、厚い冷
音、ゴーヒューバサバサ
部屋がゆる、木が折れ
たか、大丈夫だ、まず、
一度目の風の踏ん張りは、なん
とか、耐えすことができた。
勝負は、これからだ。
このような、命懸けの戦い
のなかで、私の相撲の
「お婆様」は、私の横で、

ながながと横になった状態で、寝ぼけ眼でお湯を飲んで、呼吸がないのかい？お湯は頭をはげくん、ニヤッ「仙人は、台風なんかに負けないと信じているから、安心しているの♡」でも、気付けてネ、といっているよう。でもね、仙人さん、雨は、お湯も

降かいのよ。

だってあったなら、小さい頃は、まりまりっ人逃げていたなら、今回の台風は、強いからが、所が、その時の事を考えて、覚悟を決めしとくのだ。

「ニヤッ」ニヤッ、わかったね仙人がいなくなったら、お湯は、困るから、無理だけは、しないで欲しい♡

そして、このような、台風との戦いが、何ん時間、続いたであろう、縁りのようなな、風が、少しずつ強くなった。

縁りパンチを真面にくらわずに、清みそうだな。

天さま、ありがとうございます。

私たちを守もって、イさって、私は、横にいる、お通を抱きよせ、お通ちゃん、台風の力を、縁にたえ、私と、お通の逃げないという、耐える精神力が、勝ったのだ。

「ミッシ、仙人、頑ってよ、あまり強く抱かないで、でも良かったね、正義は勝つと信じていたもんね。」

「いやだな、お通、台風は、悪いものとは、違がうのだ。」

仏人、早く下におろして！
仏人もう早く寝たいようだ
ミヤコ　ミヤコ！
あわ、えうだ、だな、すま
んよ！よいしょっと！ミヤ
愛子　どうしたの！
そして翌日の朝方に警察
が来た。仏人はいますか！
はい
おりますぞ！

昨夜の台風は、大変だ、ただ
ぼ！仏人は、下界へ行って
アパートで寝たのだ、ようし
！
何にお！高潮な事をいって
おるのだ！おぬしたちと！緒
にしたらいかんぞ！
良いかな！お主たちのように
自分だけの為に働いて己の欲を
満たすのにムキをいただく

者とは、この社会が違ったもの。

お金たち公務員は、誠実が、なぜ逃げる、私が、私が、まんまと逃げることなく、間違い、実践、体得、子どもたちに、生の話しを伝えるようにしているのだ。

お金が、ここのようなつまらない目的、未来、たのかな

知らんが、仏人のことを本当に心配して、来たのであれば、言葉に気を付けた方が、良いと思うのだが。それでなければ、所用まで、に心が、相手に伝わらん。

公務員は、能力、度が、デカイから、一般人に嫌われるのじゃ、良いですかな、公務員や政治家が、新しい国をつくる

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]